

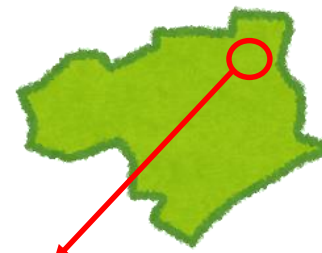
取組の概要

取組の概要 : だいこん産地の競争力強化
 計画策定主体 : 松茂町地域農業再生協議会、鳴門市農業再生協議会
 対象品目 : 露地野菜(だいこん)
 主な取組主体 : 大津松茂農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)
 助成金の活用 : 整備事業(集出荷貯蔵施設)
 状況

ポイント

- 共同選別施設の処理能力を高めることで、農業者の出荷調整作業を省力化し、作付面積拡大を図ることで産地の収益の向上につなげる。
- 計画生産に取り組むことで、適期収穫を可能とし高単価の望める上位規格品の出荷を増やすことで、販売力の強化につなげる。

地区の概要



徳島県
大津・松茂地区

産地の現状と目標

〈現状 : H27年度〉

作付面積 : 87.1ha

販売額 : 456,635千円

〈目標 : H31年度〉

作付面積 : 98.2ha

販売額 : 534,063千円



推進体制

地域の関係者(松茂町、鳴門市、大津松茂農業協同組合、鳴門藍住農業支援センター、農業関係者等)が一体となって事業推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 収穫作業の受託組織を整備することで、生産者の労力負担を軽減し作付面積の拡大を推進。

事業効果

- カメラ式選別機の導入による品質の統一、選別作業の効率化によるコスト低減、出荷調整作業の省力化による生産拡大が可能となり、競争力のある集出荷体制が整備され、産地の維持や収益の向上が期待される。

～だいこんの販売額～

